

# 太陽光発電を核に環境先進オフィスを実現 電力モニターで創エネをアピールし企業イメージも向上



## ■ 導入先

### 株式会社テクニカルさま

- 大阪 / 柏原市
- 2002年の創業。冷蔵庫の熱交換器・コンデンサーなどの銅パイプの製造・加工を主業務とされる他、その製造工程を自動化する省力化設備、自動化設備などの設計・製造なども手がけられている。



## ■ 導入商品

### 太陽電池モジュール

ND-193LN×47枚=9.04kW

- 2012年3月、新社屋の完成を機に屋上に設置。

販売・施工：有限会社マールデンキ喜連さま

## こんなソリューションを実現しました。

### 導入前の課題

電力需給の見通しが厳しさを増す中、創エネと省エネの連携による環境に配慮した体制を整えたいと考えていました。そこで、社屋の新築を機に、太陽光発電を導入することになりました。

太陽光発電でオフィス内の照明電力を全て賄うなど、環境先進オフィスが実現しました。

商談スペースのモニターで発電量を来客にアピール。環境配慮型企業としてイメージも向上しました。

社員の間に省エネ意識が、より浸透。今まで以上に、節電に取り組む機運が生まれました。



株式会社テクニカル  
代表取締役  
福島 弘治さま

■ 導入の背景

**環境配慮は、ものづくり企業の最大の責務。  
創エネ・省エネ機器で環境に貢献したい。**

以前からISO14001※を取得するなど、環境問題には関心がありましたが、震災を境に環境配慮はものづくり企業の最大の責務だと痛感するようになりました。社屋の新築を予定していた時期とも重なったため、太陽光発電システムの導入を織り込み、さらに事務所の照明もLEDシーリングライト(20台)にするなど、全社を挙げて、環境配慮の体制づくりに取り組もうと考えました。

※ISO14001とは、ISO(国際標準化機構)が1996年に制定した規格。組織(企業・自治体など)に対して環境に負荷をかけない事業活動を継続して行うように求めたもので、審査登録機関が第三者として審査・認証する。

■ 選ばれた理由

**シャープの太陽光発電システムの実績に信頼感。  
オフィスの電気代も約60%削減できる。**

50年以上もの開発の歴史を持つ太陽光発電のパイオニアとしてのシャープに、大きな信頼感がありました。また、試算によると、オフィスの電気代が年間約60%も低減できる見込みで、CO<sub>2</sub>の削減により環境に貢献できる一方で、コストカットにもつながることを評価しました。

■ 導入後の効果

**創エネ&省エネの環境先進オフィスが実現。  
社員の省エネ意識や企業イメージも向上。**

太陽光発電の導入により、LEDシーリングライトで統一したオフィス内の照明電力を全て賄うことができるようになり、創エネ&省エネの環境先進オフィスが実現しました。また、それに伴い、社員の間にも省エネ意識が、一層浸透し、良い循環が生まれています。さらに、商談スペースに設置した電力モニターで、当社を訪れる取引先などに環境配慮をアピールすることによって、企業イメージの向上にもつながっています。

■ 今後の展望

**工場の屋根にもメガソーラー。  
技術革新と環境配慮を両立。**

引き続き、本社近くの国分工場の屋根約660㎡にもメガソーラーの導入を予定しています。工場内の照明・空調や機械装置へも電力供給ができればと考えており、ものづくり企業として、一層の技術革新をめざすと同時に、さらに環境配慮への取り組みも強化していきます。



商談スペースの電力モニターで環境配慮をアピール。



事務所内にLEDシーリングライトDL-C501Dを20台設置